

(臨床研究に関する公開情報)

静岡医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] がん化学療法における HBV 再活性化対策に関する検討

[研究責任者] 彦坂 麻美 薬剤部・製剤主任

[研究の概要]

近年、免疫抑制剤やがん化学療法による劇症化頻度の高い B 型肝炎ウイルス(以下、HBV) 既往感染症の再活性化(以下、de novo B 型肝炎)事例が報告されている。2009 年に「免疫抑制・化学療法により発症する B 型肝炎対策ガイドライン」が発表されたが、その後もガイドライン不遵守による de novo B 型肝炎が報告され、啓発と対策が求められている。静岡医療センターでは、2015 年 11 月より薬剤部主導の HBV 再活性化対策を行っており、その取り組みの有用性について評価を行う。

[研究の方法]

●対象となる患者さま

注射剤によるがん化学療法が開始となった患者さま

●利用する検体、カルテ情報

年齢、性別、主病名、投与レジメン、投与時期、検査項目 (HBs 抗原、HBs 抗体、HBc 抗体、HBV-DNA 定量)、核酸アナログ投与の有無

[個人情報の取扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さまを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国立病院機構静岡医療センター

彦坂 麻美 薬剤部・製剤主任

電話 055-975-2000 FAX 055-975-2725